



司法修習生を講師に、レストランにて、交渉術を体感。



地域の課題解決に向け、行政関係者も参加した話し合い。



生物の先生の案内で、手賀沼の自然を観察。



畑ツアー。柏の農業について、行って、見て、学ぶ。

表紙写真

- 上 柏のレストランにご協力いただき、地域の人同士が交流し、この地域の良さや課題を話し合う。「自分たちの地域のために、何かしたい」、そんな思いを引き出してきた。
- 下 高校生と保護者、柏まちなかカレッジが同じテーブルで対話。地域に開かれた授業を進める。

PROFILE

1978年4月生まれ。33歳。
東葛飾高校卒業。早稲田大学教育学部卒。
土浦日大高校にて勤務。
早稲田大学教育学研究科後期博士課程
単位取得後退学。
政策学校・一新塾卒業。



教育コンサルタント緑葉学会代表。
人の絆を豊かに、地域を元気にするシンクタンク(社)CAT研究員。
体験農園と食育のカフェを併設した学習塾・「サス塾」英対話チーフ。
地域活動では、「柏まちなかカレッジ」学長、
「NPO法人柏ソーシャルキャピタル協会」理事、
「アートラインかしわ」スタッフ、橋生涯更生支援会に参加。
松葉町のBE-COMにコラムを連載。

【趣味・特技】歴史散策、剣道(三段)、絵画、空手、カポエイラ、
三線、自転車、バイク

柏まちなかカレッジ 活動実績

2年間で、約200回の講座を企画。延べ約1500名が参加。

地域の仲間づくり、新しい教育の実践、自分の経験の発表の場として展開。その中から、地域を良くしていこうというプロジェクトが立ち上ったり、新たに起業する人も出た。講師をきっかけに、他からも仕事が入ってくるなど、柏の登竜門的な役割も果たす。

県立高校とも連携し、開かれた学校づくりを進めている。柏市の市民大学構想や他地域のモデルともなる。

弁護士や会計士など職業的専門性を地域に活かすプロボノなど、NPO運営での最先端として注目を集めている。

CONTACT

山下洋輔を応援する会

[tel/fax] 04-7170-0668
[e-mail] info@y-yamasita.com
[hp] http://y-yamasita.com
[twitter] @yosukekeyama フォローお願いします
柏3-7-21椎名ビル702号室
(旧水戸街道沿い、1Fが麺王のビルです)

山下洋輔はクリーンな政治を目指しています。そのためには、皆様のお力が必要です。ポスティング、ポスター貼り、電話、力仕事や発送作業など、わずかな時間でもかまいません。地域を良くするため、一緒に活動しましょう。ご連絡ください。

山下洋輔を応援する会 発起人
住吉慶太 寺嶋郁夫 橋幹雄 柏女靈照 東風谷久子

みんなで作る 教育のまち・柏



山下洋輔

33歳

無所属

新人

コミュニティスクールとは

私は、高校の教員の時に、家庭訪問や進路相談、地域のパトロールやPTA活動を通して、学校教育だけでは解決できない課題に直面しました。

地域の治安、進路や就職、家庭の事情、社会の不安。生徒を取り巻く環境を良くしなければ、良い教育はできない。

私はこの問題の解決策を探すため、大学院で学び直し、オランダの「コミュニティスクール」の存在を知ります。

コミュニティスクールとは、生徒、教員、保護者、地域が一体となって学校を運営する仕組みです。保護者や地域の経験や知恵が学校に活かされ、教員や保護者の意識が変わり、生徒にいい影響を与えます。多様な価値観にふれることができ、「生きる力」を育みます。学校が地域コミュニティの中心となり世代間交流はもちろん、地域の大人同士の交流の機会をつくり、新しい地域のプロジェクトが生まれるきっかけにもなります。さらにその結果として治安もよくなります。教育が生活に根ざすことで地域の力になるのです。

※日本でも、平成23年4月1日現在で、789校

がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置しています。昨年に比べ、コミュニティ・スクールに指定された学校は、160校増えています。

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の声を学校運営に直接反映させ、保護者・地域・学校・教育委員会が一体となってより良い学校を作り上げていくことを目指すものです。

柏まちなかカレッジとは

柏を愛する人から始まる、柏を愛する人たちが運営する、柏を愛する人のための、学びの場。それが、柏まちなかカレッジです。

カレッジといっても普通の学校とは違い、校舎はありません。柏の素敵なカフェや飲食店、公園、学校や公民館を有効に活用しています。先生に招いているのは有名人ではありません

ん。柏には、面白い人がいます。また、先生が一方向的に講義するのではなく、受講生同士が学び合える対話を取り入れています。

そうした身近な人との対話から、地域への関心を深め、互いに学んでいく。それが柏まちなかカレッジの特色です。

柏には、面白い人がいます。カッコいい空間があります。エネルギーがあふれています。これらを集めて、まちと人を元気にする仕組みが、柏まちなかカレッジの特色です。

「まちを歩いている、『こんにちは』と声をかけ合える人ができた」、学びの輪をきっかけに、人の輪が柏に広がることを願っています。

広報かしわ(平成22年3月1日No.1356)で紹介されました。

「まちなか」で新しい世界に触れる

●柏まちなかカレッジ学長

山下 洋輔 さん
(柏在住 31歳)



校舎や教室を持たず、カフェ、花屋、公園など、街全体がキャンパスの「柏まちなかカレッジ」。有名な先生ではなくても、市民が教え、学び合っていく独自の試みだ。

「ある分野では普通の人でも、ほかの分野の人から見たらすごい。知識や経験を伝えることは、人生をさらけ出すことでもある。それが受け入れられればうれしいし、成長にもなる」。少人数で行われる講座から生まれる深いつながりが、人々のネットワークを広げる。「多様化する社会の中で、新しい世界に触れられる実験的な場でありたい」。

昨年4月末に行われた市民活動講座から瞬く間に人の輪が広がり、4月に本格的なスタートを迎える。11月のプレ開校の時は、飲食店や美容室など数十店を回ったものの、実績が無く、なかなか会場を提供してもらえなかった。しかし、母校の東葛飾高校の協力もあり、十七講座が開かれた。「協力していただいた方には感謝しています」。運営するメンバーは学長を含めてボランティアで参加しているが、新しい取り組みを支える気持ちは皆熱い。

二線(さん)さん、空手、カポエイラ、バイク、クレパス絵画など、趣味の幅は広く、大学院で教育哲学を研究する身でもある。その好奇心と知的探求心が人々を引きつけるのだろう。中学一年生の時、大阪府箕面市から流山市に移った。豊かな自然と、歴史に裏打ちされた、深い人間関係を残す町から引越したときの、人とのつながりを求める気持ちが原点にある。人間と、柏を愛する「柏愛はくあい」主義者が、柔らかな笑顔で人々をつなげる。

柏まちなかカレッジは4月11日(日)に開校式を行う予定。詳しくは、ホームページ(<http://www.kcolleage.org/>)を見るか、事務局 ☎0800-153731 までお問い合わせ。



会場の花屋で参加者を前に

おとなりさん
No.455